

ハッピーワンポイント英会話 八女でホームステイ受け入れ家庭になる編

その2 "Let me show you how to ..." "…のやり方を教えてください"

八女で外国人のホームステイを受け入れることになった場合のワンポイント英会話その2です。前回、アメリカ人のクリスティンは、うどんを食べる時のすする音に抵抗を感じていましたね。さて、クリスティンへホームステイをするにあたって、家の中の物の使い方を説明しようと思います。

台所で Kristen: Do you mind if I cook something by myself? (時々、自分で料理をしてもいいですか?)

Emi: No problem. Go ahead! You can use anything in the fridge. You have IH stove here. Have you ever tried using an IH stove? (もちろん、どうぞ。冷蔵庫の中のものは何でも使っていいわよ。ここは、IHヒーターなんだけど、今までに使ったことある?)

Kristen: No. But it looks really cool! (いいえ。でもとってもカッコいいですね!)

Emi: Yeah. Let me show you how to use it. It's very easy. (そうね。使い方を説明させてね。とっても簡単よ)

脱衣所で Emi: This is our washing machine. Here is the detergent. I'll show you how to use it. (これがうちの洗濯機よ。ここに洗剤もあるから。この使い方を説明するわね)

Kristen: OK. What are these? (はい。これは何ですか?)

Emi: They're "wash" "rinse" "drain" "dry" buttons. (それは「洗う」「すすぐ」「脱水」「乾燥」のボタンです)

Kristen: OK. All of them are in Kanji so I'm sure I'll pick a wrong button some day. (わかりました。どれも漢字で書いてあるから、いつか私はきっと間違ったボタンを押しちゃうでしょうね。)

Happy One Point English Conversation 前回(その1)の復習 "It's OK to" 「…してもいいのよ」

ハッピーデイズイングリッシュハウス 大坪エミ

アロマセラピー

皆様、ハーブティーはお好きでしょうか?ハーブの種類は非常に多く、さまざまな薬効があり、その有効成分は精神面、肉体面の両方に作用するといわれています。100%天然の植物性の有効成分を使うという意味ではアロマセラピーと同じで、ハーブティーを飲む時の香りを楽しむのも立派なアロマセラピーです。

今は日常生活に使うほとんどのものに香りがありますが、香りの成分は嗅覚を通じて、脳を活性化し、肺を通じて血管にも届きます。・・・ということは全身に作用することになります。香りは目には見えませんが、“本物のナチュラルな香り”を楽しむことはとても大切で、逆に人工的な香りは危険な場合も多くあります。どうぞ毎日楽しむ香りに、是非“本物のナチュラルな香り”を取り入れてみてください。ちなみに、春先にお勧めの香りはデトックス効果のあるもの。春になると、何となく外に出たくなるように、体も冬に溜め込んだ毒素や老廃物を出したがつているのです。精油だと、ジュニパーやグレープフルーツ、サイプレス、ローズマリーなど、ハーブティーは ダンディライオン、リンデン、ネトルなどが効果的だといわれています。精油の使用に関しては注意事項をご確認のうえ、ご使用ください。

今回でアロマセラピーの特集は最終回となります。長い間ご愛読頂き、本当にありがとうございました。尚、LICフレグランススクールの アロマ情報はライブドアのブログ “LICフレグランススクールのここに日記” (→http://blog.livedoor.jp/mknfy/) …でもご覧いただけます。興味のある方は是非遊びにいらしてくださいね。今後ともLICフレグランススクールをどうぞ宜しくお願い致します。又紙面でお会いしましょう。see you again. (お問合せ先)

LICフレグランススクール 認定講師 牧坂久美子 ☎: 090-2714-9172 mail: nk_makisaka@sunny.ocn.ne.jp

今月の山柳



のどかな山里に「夢たちばな観梅会」を迎えると「もう春だなあ」と実感する。春を告げる梅花の芳香に包まれ、人や竹あかりなど一期一会の出会いもあり、心まで温かくなる。 来年も また逢いたいね 梅の下 八女川柳会 安達昇

餅つき大会で心の交流

昨年の暮に西桑原九班の隣組で「もちつき大会」があった。八年前、この隣組の藤田さんが一人で「餅つきを工場の中で始めよう」と思い立って始められたところ、近所の人も「私も」「私も」と誘い合って現在に至っているということだ。

次第に家族の人も参加するようになり、嫁いだ人達も帰ってきて加わり、お孫さん達も大変喜んで笑顔いっぱいだった。

いよいよ餅つきが始まった。蒸籠から石臼に蒸された米が移され、一人がこね、一人が杵でつく。「はい」「はい」と二人で元気よく声をかけ合い、心をつ一つにして、つかれるのを見て元気をもらい、私の心も軽快になり楽しさいっぱいだった。

餅ができ上がるまでの作業は大変だが、みんな笑顔で幸せなムードの中でアツという間に、おいしそうな餅が出来上り喜びの声でいっぱいだった。これは立派な文化だと思った。

餅ができ上がるのも楽しいことだけど、八年間も全員気持ちよく協力合せて心の交流をしてあることがすばらしい。「隣組の和」が私の心に伝わり、あたたかくなった。終わった後全員で、かっぽ酒を呑みながら語り合われた。幸せのおすそわけももらった師走のひとつときであった。 黒木町 月足美智子



社会人講師を招いて(西洋料理講習会)

本校生活科学科2年生は「フードデザイン」の授業に「びすとろ大石」(佐賀市)のオーナーシエフ、大石勇人氏を講師に迎え西洋料理およびマナー講習会を行いました。 献立は「パエリア」「カブのスープ」「アイスクリームの温かいバナナソース添え」 献立の中にぜひお茶を使つて欲しいとお願ひしていたところ、ほんのりお茶の香りのするスープが出来上がりました。プロの身支度・切れ味のよい包丁等見せていただき、さらに分かりやすい説明・実演、ひとつひとつに生徒達の歓声が上がっていました。

(生徒の感想) どれも初めて作るものばかりでした。少し苦手な魚介類でしたが、おいしく食べるこ とができまし た。先生は手 際がよく、と ても分かりや すい説明をさ れ、私も張り 切つて作ろう という気にな りました。実 際に作つてみ るとエビの背 わたを抜くの が難しかった り、焼き加減 が分からなかつたりなど、 結構手間取り ました。先生



実習風景

八女農業高等学校

が優しくアドバイスして下さったのでとても嬉しかったです。家でも作つてみたいと思います。ま

たスープではカブの葉の部分まで使い、そんな調理の仕方があるんだなと思ひました。お茶も取り入れ風味もよく、とてもおいしくいただくことができました。バナナアイヌも、普段はアイヌだけ食べますが、バナナソースをかけることにより、今まで食べたことのない食感を味わうことができました。先生の御指導に感謝します。 (生活科学科二年 浅田厚子 黒木中出身) (八女農みらい館) 2月の会館日は 7日(火)、10日(金)、14日(火)、17日(金)、21日(火)、24日(金)、28日(火) 毎週火曜日と金曜日の2 回定期的に販売しており、 販売時間は、10時30分〜 12時30分です。